

第Ⅱ期 事業報告書

1. 収支報告

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
収入実績	利用者延人数	68人	86人	100人	119人	137人	114人	191人	216人	人	人	人	1031	
	月平均利用額(1人当たり)	9,927	10,528	10,648	11,331	12,026	11,522	11,369	11,370	11,370	11,370	11,370		
	給付費受入れ額			675,012	905,375	1,064,814	1,348,446	1,647,596	1,313,498	2,171,429	2,378,488	2,400,000	2,400,000	16,304,658
	合計(A)	0	0	675,012	905,375	1,064,814	1,348,446	1,647,596	1,313,498	2,171,429	2,378,488	2,400,000	2,400,000	16,304,658
支出実績	人件費	50,000	1,033,233	998,696	996,955	1,306,894	1,094,142	1,094,142	1,207,200	1,667,200	1,200,000	1,430,000	1,430,000	13,508,462
	旅費、交通費	10,000	10,000	11,000	25,000	35,000	30,000	30,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	311,000
	事務所賃借費	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	91,000	1,092,000
	通信費	24,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	486,000
	諸経費	311,474	604,674	579,612	484,800	494,572	626,924	481,647	300,007	300,008	300,009	300,010	300,011	5,083,748
	合計(B)	486,474	1,780,907	1,722,308	1,639,755	1,969,466	1,884,066	1,738,789	1,672,207	2,132,208	1,665,009	1,895,010	1,895,011	20,481,210
	利益(A-B)	-486,474	-1,780,907	-1,047,296	-734,380	-904,652	-535,620	-91,193	-358,709	39,221	713,479	504,990	504,989	-4,176,552

2. 事業報告

①将来を生きる力

・食育



自炊できる力をつける事を目標に週に3日、4月から7月まで調理実習をした。夏休みに入り閉所時間が早まるのでおやつ作りを中心とした調理実習に変更した。9月に入りコロナ禍が激しさを増し、調理実習は中止にした。11月より様子を見ながらおやつ作りの調理実習から再開して土曜日の昼食の調理実習をしている。包丁を使わずとも枝豆にハサミで切り込みを入れるとかピーナッツをちぎる等の体験をする事で食に対する興味や知識を身につけられている。特に土曜日、使った食材や栄養の話をしているが次年度はそこを強化して教材なども導入していきたい。偏食の激しい児童がここで提供される食事を取ることで家庭でも食べられるものが増えた、とうれしい声も届いている。平日は時間的に調理実習は難しいので、時間のある児童やりたい児童におやつ作りのお手伝い、土曜日に全員が調理実習出来るように考えていきたい。



・自然&仕事体験



4月に米の種蒔き、竹の子掘り、5月田植え、梅ちぎり6月にブルーベリー収穫9月に栗拾い10月稲刈り12月に餅つきと四季を通して宗像の瀬口様ご協力のもとさまざまな自然体験をしてきた。大英産業様ご協力で冒険村作りということで大工さんと一緒に作業する体験を3回出来た。8月には蘆谷海浜公園のライフセーバーの方々のご協力で海難救助訓練との位置づけで海水浴またIYOTAホースクラブ様のご協力で乗馬体験と充実した野外活動をする事ができた。家庭単位ではなかなか難しいと思われる自然体験を提供できたことに関係者各位に感謝するとともにプレシヤスONEの特徴として大切にしていきたい。

②未来を選べる力

・英語教育



毎週月曜日、30分という時間の中で楽しく、興味深く英語に親しむよう講師の先生が工夫してくださっている。コロナ禍ということなので一人ひとりマスク着用の上フェイスシールド着用し机にもシールドを設置し、全員講師のほうを向いて着席するという厳重な衛生管理のもと実施している。英会話に全く興味のない児童には無理強いせず別活動もさせている。全体的には児童は楽しく参加しており欧米の文化にも触れる機会にもなっている。保護者には人気のプログラムで月曜日は定員いっぱい状態である。



・IT教育



プログラミングに興味のある児童は一定数いる。将来生きていく力にもなるIT技術を少しでも身につけられるよう次年度はヒューマンアカデミーキッズサイエンスと連携して進めていく。パソコンの基本的な操作が出来れば就職にも大きく結びついていく。興味のあることに抜群の集中力を発揮できる特性を活かして能力を伸ばしていければと考える。



3. 所感

4月から開所し、川田氏以外は全員放課後等デイサービス未経験者で進めてきた。反抗期の児童や発達障害児について理解するため研修を重ね、手探りで対応してきた2月に保護者アンケートを予定しているが、その回答を基に改善点を出し、職員研修を重ね、療育の質を高められるよう職員一人ひとりのスキルを上げていくことが必要である。